



千地申第12号

## 「働きがいのある営業施策を実現するため」 の申し入れを提出！

2022年3月30日以降、支社より営業施策に関する提案と説明を受けました。営業職場では、「駅の変革のスピードアップ」により自分達の業務や職場がどのように変化するのかわからなくなり、これまで描いてきたキャリアプランをどのように見直せばいいのかなど、多くの不安の声が上げられています。

地本は組合員の不安を解消し、将来への希望と働きがいを持って業務執行できる職場を創るために、下記のとおり申し入れを行いました。

### 《要求項目》

1. 「駅の変革のスピードアップ」で謳われている「輸送拠点駅」についての考え方を明らかにすると共に、千葉支社内の輸送業務の将来像を明らかにすること。
2. 佐倉駅信号所の運行管理を運輸部指令室に移管する目的と、効率的な業務執行体制が構築できる根拠について明らかにすること。また、運行管理業務を運輸部指令室への移管に伴い、運輸部指令室の業務量増加が見込まれるので、体制を整えること。
3. 施策実施後も佐倉駅に残る輸送業務については、実施頻度が少ないことから、社員の不安がなくなるまで教育や訓練を定期的実施すること。
4. 岩井駅、富浦駅、那古船形駅、九重駅、千倉駅、千歳駅、南三原駅の駅運営体制の見直しを実施する根拠を明らかにすると共に、施策実施後の各駅の体制を明らかにすること。また、自治体や学校等に説明を行い、地元の理解を得ること。
5. 施策実施後の各駅の自動券売機の台数を明らかにすると共に、紙幣詰まり等のトラブルが発生した際の対応について明らかにすること。また、コールセンターの設置箇所や業務内容、体制を明らかにすること。
6. 施策実施後も、お客さまが安心して駅をご利用いただけるよう自治体や警察署と連携を取って、巡回等を実施すること。また、新学期等の定期券購入の対応について明らかにすること。
7. 亀戸駅、稲毛駅、四街道駅、八街駅、銚子駅、新木場駅、五井駅、大網駅、上総一ノ宮駅、御宿駅、酒々井駅、小見川駅のみどりの窓口の営業を終了する根拠を明らかにすること。また、先日発生したえきねっとの通信障害の課題や対策を明らかにすると共に、それが出来ない場合はみどりの窓口の廃止を見直すこと。
8. 施策実施により社員の異動や担務変更が発生する場合は、本人が描くキャリアプランを十分に把握し、一人ひとりの特情等も考慮して意識付けや本人に寄り添ったフォローを丁寧に行うこと。
9. JR東日本管内完結となる全区間の普通回数券を2022年9月30日をもって発売終了する目的と根拠を明らかにすると共に、Suicaエリアではない久留里線発着の普通回数券は現行通り発売を行うこと。予定通り発売しない場合は、久留里線にSuicaを導入すること。
10. プレス発表は社員周知を行ってから実施すること。また、設備を十分に整えてから施策を実施すると共に、施策実施後も労使で検証を行い、問題等が生じた場合は協議すること。

**組合員が描くキャリアプランを実現して、将来への不安を解消し  
働きがいのある営業施策とするために団体交渉を行います！**